

No.247

2021年  
4月号

# さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 展示のご案内

展示期間 4月30日(木)まで

★メイン展示

### 「あたらしいことはじめよう」

4月は入学、就職など新生活にスタートを切る方も多く、何か新しいことにチャレンジする方も多そうですね。そこで、「あたらしいことはじめよう」と題して、

- ・小学生になったら
- ・趣味を見つけよう
- ・人間関係について

という3つのコーナーを設けました。

ぜひお越しください。



#### ●メイン展示図書(抜粋)

「小学生になったら図鑑」「がっこうだっ  
どきどきしてる」「DIYで作る猫との暮らし」  
「新型コロナ時代のランニング」「自己肯定力」  
『「繊細さん」の本』「不安は9割捨てました」

★サブ展示

### 「密を避けて、お外へ行こう」



#### ●サブ展示図書(抜粋)

「るるぶ高知四万十」「ヒロシのソロキャンプ」  
「おりたたみ自転車はじめました」

## 展示のご案内



宿毛小学校2年生がおすすめのむかしばなしの紹介を「お気に入りのむかしばなしをしょうかします。」と題して、大きな作品にして図書館に展示してくれています。児童コーナーに展示していますので、ぜひ、ご覧ください。

見に来てね



# 読んでみませんか？

## -新着図書のご案内-

(一般)

### WHAT IS LIFE? 生命とは何か

ポール・ナース 著  
竹内薫 訳  
ダイヤモンド社

2001年にノーベル生理学・医学賞を受賞した生物学者であるポール・ナース。初の著書となる本作『生命とは何か』をテーマに壮大な疑問に迫る。

1羽の蝶をきっかけに生物学の世界に魅了されていった著者。その経験を基に、生物学の5つの重要な考え方を取り上げ、生命の仕組みを辿っていく。目まぐるしく流れる情報化社会の中で、少し立ち止まり未来について考えるきっかけの一冊となるかもしれません。

(檜田)

(児童)

### 未来を変えるレストラン

小林深雪 作  
めばち 絵  
講談社

サラは自分のレストランをもつのが夢。おばあちゃんと暮らす中で、食材やもの大切さを知り、人だけでなく、地球にやさしいレストランを作りたいと思うようになります。

ゴミだと思って捨てていたものが、おばあちゃんの調理でステキなものに変身。お金をかけないで、手をかけてあげる。

そんなおばあちゃんからサラは、作る責任と使う責任を学んでいきます。家庭でご飯を食べる機会が増えた今だからこそ、食品ロスについて考えてみませんか？

(岡村)

(一般)

### 物語のものがたり

梨木香歩 著  
岩波書店

秘密の花園・赤毛のアン・不思議の国のアリスなど、1度は読んだことのある物語。

子どもの頃はハラハラした場面も、大人になって読むと思わず噴き出してしまいます。同じ場面でも読み手によって変化し、奥行が増してくる名作の数々を物語の作り手が読み解き、先人たちの仕事の核心に迫っていく、児童文学初のエッセイ集。

もう一度、新しい視点で児童文学を読みたくなる一冊となっています。

(尾崎)

(児童)

### なんでもない

鈴木のりたけ 作・絵  
アリス館

お気に入りの服を破ってしまった女の子。がっかりしながらも黒いカラスを見て思います。「ふくのいろがえらべるわたしは しあわせよね」。けれどもカラスにとってはそんなの「なんでもない」ことで気にもしていません。そしてカラスものろまなカメを…。

他者から見ると不便に思えることでも本人にとっては案外そうでもないことってありますよね。誰に何を言われても思われても気にしない！自分のことは自分が一番よくわかっている！ことを気付かせてくれる絵本！裏表紙にも注目してみてください。

(山口)

## 糸

松澤まり子

糸はすごいと思う。紀元前にどこかで、誰かが工夫を凝らして布にしたり動物や植物の毛を使い布にして今のわたしたちは着ている。どれだけの年月と労力がかかっていることだろう。名もなき人たちはどれだけ工夫をして作ってきたのだろう。大自然の中において、あ？これは使えるかな？とかやってみた人々。氷河期を経て自然に体をくるまないといけなくなったということもあっただろう。ほんとうに必要な発明の母である。

羊から毛をとる、とった毛を紡いで糸にする。糸を染めるための植物などをいったい誰が始めたのだろう。

もうだいぶ前のこと、アーケード街にあった毛糸店の編み物教室に通ったことがあった。その先生がおっしゃったのには、昔、誰かが風で飛び木にかかった羊毛を見て編み物を発見したがやないろうか、と。話を聞いたとき、映像が目に浮かぶようだった。古代のどこかで荒野かもしれない。農地かもしれない。いえ、農地がない時代かもしれない。森かもしれない。調べると羊飼いがいたのは旧石器時代にさかのぼるとか。旧石器時代！すごいな。春風の中、想像力を働かせてぼーっと考える。

以前も書いたことがあるかもしれないが、世界中のどこかで誰かが編み物をしていると思うと、こころがふっと暖くなる。わたしと同じように編み物をして同じ仲間がいる、と。下手なわたしなどよりずっと上手に長年編んでいる人も、最近始めたばかりの人やどんな人でも編み物をしていると思うと嬉しいのだ。または羊毛から糸を作ったり紡いだり。きっとTVや今だったらYouTubeを見たりパソコンで何かを見ながら、それとも音楽を聴きながら、いえただ黙々と瞑想をするように無心に編み針を動かしていることだろう。

アーケードの毛糸店の先生は店でよくTVをつけて小さな椅子にちょこんと腰かけ、国会中継なんかを聴きながら編み物をしていたっけ。ただ点けているだけよ、なんて言いながら。不義理なわたしは仕事が忙しくなりそのまま辞めてしまってからお伺いもしていなく申し訳なく思う。今でもそのお店のワゴンセールでウール100パーセントの一玉100円だったピンクの毛糸で初めて海外パターンで編んだマフラーを冬に首に巻く度にお店を思い出す。先生が子供の頃、ご近所の女性から靴下の編み方を教えてもらった

のが編み物を始めたきっかけだと聞いたことがある。今でもすらすらと編めるのよ、と話していた。惜しいことをした。靴下の編み方を教えていただいたらよかった。

じぶん新聞があれば見出しはこうだ。「2021年春、靴下編み大ブレイク！初ソックスは去年の冬から年明けにかけて編まれた」数年前に買ってあったソックスでネットで調べた無料パターンで編んだもので出来上がりは無論下手。でも寒い日々の中で履く自分の編んだウールの靴下はほんわか暖かく嬉しかった。2足目は少し小さくなったので母にあげた。床では滑る、と愚痴を言っていたけれど履いてくれているようだ。

去年の冬から夜な夜な、暖炉の前で（正しくは暖炉式ヒーター）ソファに座ってアマゾンスピーカーでクラシックピアノやチェロを聴きながら編んだ。今の騒々しい世間とかけ離れた気持ちのよい時間となった。そしてある晩、「靴下を編んでいます」というYouTubeのライブを見つけた。Mさんが毎晩している動画で、そのライブでチャットを初めてしてみたなら楽しくて今は見ながら編み物をしている。そこで知りあった人たちは楽しくて優しく毎日いろいろあるけれど自分の生活をして、生活の中に編み物がないと、という人たち。見ず知らずのわたしの暗い道に灯りをくれた人たち。Mさんの編む編みぐるみや靴下は愛にあふれている。

まだまだ靴下編みは下手っぴで漱石のいうストレイシープなのだけれど、きっと、たぶん、編んでいけばなんとかなるだろうと思う。羊飼いがあちらこちらにいて導いてくれるから。糸はわたしにとって希望であり人をつなげるものなのだ。



春の咸陽島

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- 0 「最悪な一日」 コウイチ  
 1 「お前のために生きてないから大丈夫です」 カマたく  
 2 「恋する日本史」 『日本歴史』編集委員会編  
 2 「おりたたみ自転車はじめました」 星井さえこ  
 3 「おしゃれ防災アイデア帖」 Misa  
 4 「今だから知りたいワクチンの科学」 中西貴之  
 5 「イカす!よっちゃんレシピBOOK」  
 よっちゃん食品工業(株)監修  
 5 「かんたん園児のおべんとう」 阪下千恵  
 6 「長生きする鳥の育てかた」 細川博昭  
 9 「クララとお日さま」 カズオ・イシグロ  
 9 「いわいごと」 畠中恵  
 9 「小説火の鳥 大地編 上・下」  
 手塚治虫原案・桜庭一樹著  
 9 「湯どうふ牡丹雪」 山本一力  
 9 「傷痕のメッセージ」 知念実希  
 9 「オムニバス菅田哲也」 菅田哲也  
 9 「血も涙もある」 山田 詠美  
 9 「その扉をたたく音」 瀬尾まいこ  
 9 「俺と師匠とブルーボーイとストリッパー」  
 桜木紫乃  
 9 「悪の芽」 貫井徳郎  
 9 「グレゴワールと老書店主」 マルク・ロジェ  
 9 「Go Toマリオ」 林真理子  
 9 「嘘かまことか」 平岩弓枝

※左側の数字は図書の分類を表しています。

0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- 「平和の女神さまへ 平和ってなんですか? 」 小手鞠るい  
 「友だちづきあいってむずかしい」 オナー・ヘッド 楠木誠一郎  
 「ツリーハウスの風」 佐藤まどか  
 「ぼくらの青」 小林深雪  
 「未来を変えるレストラン」 坂東元監修  
 「どっちが強い!?リカオンvsモリイノシシ 最強ハンターの激突! 」 たかどのほうこ  
 「わたし、パリにいったの」 工藤ノリコ  
 「ノラネコぐんだんと金色の魔法使い」 赤川次郎  
 「三毛猫ホームズの水泳教室」 廣嶋玲子  
 「十年屋 5 ひまな時もございます」 エルサ・ベスコフ  
 「ロサリンドの庭」

### 絵本



- 「にげてさがして」 ヨシタケシンスケ  
 「はりねずみのおいしゃさんとおばけのこ」 ふくざわゆみこ  
 「なんでもない」 鈴木のりたけ  
 「ありがとう」 谷川俊太郎  
 「ぼかぼかぐ〜ん」 角野栄子  
 「おばけのやだもん まほうのカレーライス」 ひらのゆきこ  
 「モルモットのちゃもとけだまーず」 なかやみわ  
 「おおきくなったら」 とよたかずひこ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。  
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、  
 そちらもぜひご覧ください。

### 4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

### 5月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日  
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>  
 メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)